

JSPP東日本大震災被災支援事業「小児歯科医がはこぶ『子どもたちのこころを贈って還す』運動」活動報告

○久芳陽一、濱野良彦、加藤真由美、荻田修二、俵本寛志、丸山進一郎

全国小児歯科開業医会（JSPP）

【緒言】

全国小児歯科開業医会（以下、JSPPという）は平成23年3月11日に起こった東日本大震災の被災者支援事業として、全会員から義援金を募り、その資金を基に「小児歯科医がはこぶ『子どもたちのこころを贈って還す』運動」を行っている。被災後直ちに被災会員の状況把握、救援物資を送るなどの一次的な対応を図り、また、避難所の子どもたちへの慰問も行なった。今回我々はその活動を報告し、今後の子どもたちへの更なる支援を考察する。

【方法】

- ① 先ず、会員診療所に来院する子どもたちに「励ましの（こころ）の絵」を描いてもらった（資料①②）。
- ② 描いてくれた子どもの顔写真を添付した（資料③）。
- ③ JSPP担当者（丸山）に郵送する。（JSPPで作品のコピーは保存しておく）
- ④ JSPP執行部が送付する保育園、幼稚園、小学校を選定して（JSPP会員を中心に関係者の情報を元に）、その作品と伴にクレヨン、画用紙、スケッチブック、その他を被災地に持参し寄贈した。
- ⑤ 期限を決めず、「こころ」を受け取った後の「こころを還す」絵を被災地の子どもたちに描いてもらった。
- ⑥ その作品をJSPP担当者に、返送してもらった。
- ⑦ 集まった多くの作品を画集にし販売した。
- ⑧ その収益を、この支援事業の資金に追加している。

【訪問の概要】 宮城県石巻市 平成23年8月3.4日



小児歯科開業医会（JSPP）東日本大震災被災支援事業
※児童福祉法がはこぶ「子どもたちのこころを贈って還す」運動
被災地のおもだちらに「はげましの絵」を描いて贈ろう

おもだちをはげます絵を募集中！！

- ※ 画用紙かスケッチブックに色鉛筆やクレヨンで描いた絵を集めています。名付かドクターに添付してください。
- ※ 題材はなんでも結構です。絵にコメントを入れてください。
- ※ 被災地の子どもに贈った子の顔が分かるように顔写真を添付して、絵に貼って送ります。但しは顔写真相、写真までを記載しますが、個人情報保護に努めます。
- ※ 募集期間 長く続けます。
- ※ 作品はJSPPに帰属させていただきます。返却はできません。公開するなど著作権が発生する場合は、承諾を得るようになります。

局長

JSPP東日本大震災被災支援事業
 小児歯科開業医がはこぶ「子どもたちのこころを贈って還す」運動

応募用紙

年 月 日

氏名

男・女別

年齢（または学年）

連絡先

電話番号

絵のコメント

応募歯科医院名

贈り先（施設名）

メモ

JSPP
全国小児歯科開業医会 東日本大震災被災支援事業

小児歯科医がはこぶ
「子どもたちのこころを贈って還す」運動
 画集

第1巻

全国小児歯科開業医会

第1版は、子どもたちの心がこもった絵が377枚掲載されている。
 1冊2,000円で現在販売中。
 お申し込みは、ハート小児歯科の桑原康生先生まで。Tel. 072-986-1188
hearttdc@gold.ocn.ne.jp

【考察および結語】

今回、JSPPは東日本大震災の被災支援事業として、支援金を募り、その資金をもとに、平成23年8月から平成24年3月までの間に4つの保育所と幼稚園、児童館の6施設（児童数575名）を訪問した。会員診療所の患児が描いた「励ましの絵」と歯ブラシ、スケッチブック、クレヨン、折り紙等を寄贈した。また、それに応えるかたちで、被災地の子どもたちから選んできた絵を集めて、画集を自費出版した。

今後も、あと2年間は継続して支援を続けていく予定であり、子どもたちの画集も第2版、第3版と発行する予定である。一日も早い被災地の復興を願うと共に、この画集が、被災地の子どもたちや会員診療所の子どもたちにとって、被災を忘れることなく、今後の人生の中で困難を克服していく糧の一つになってくれることを願ってやまない。